

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	事業所への理解や、家族や地域との連携を深める為事業所としての働きかけや環境づくりに力を入れたい。	運営推進会議の活用	行事や興味を持てる議題を組み入れた会議の持ち方を工夫し、運営推進会議を、家族や地域との連携を作るきっかけとなるよう取り組む。	ヶ月
2			意見が聞きだしやすい環境づくりに努める	意見箱の設置だけでなく、本音が聞き出しやすい信頼関係作りや、アンケートの実施などの取り組みを行う。	ヶ月
3	1	個別ケアの関わりに努力はしているものの、理念がどれだけケアに反映しているのかを見つめなおす必要がある。	理念の唱和を行うだけに留まらず、理念に基づいたケアを考える。	毎朝理念の唱和を行い、意識した関わりが持てるよう心がける。又、ミーティングにてケアの検討を行い、理念(原点)に戻った視点を持てるよう努める。	ヶ月
4			研修や勉強会に積極的に参加する。	外部研修・内部研修に参加し、介護技術や知識の習得につなげ、ホームに持ち帰り報告し全体で学ぶ。又、一人ひとりが勉強会の担当を持ち、学ぶ機会を作り、自己研鑽につなげる	ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。